



新聞 新開まさひこ通信

あけぼの曙

発行責任者
福岡県議会議員
新開昌彦
福岡市早良区曙 2-1-35

Vol.30 平成 17 年 7 月 17 日発行

地震対策などに30億円

福岡県議会は、6月7日から24日の日程で6月定例会が開かれ、福岡県西方沖地震対策などのため、約30億8400万円の補正予算を可決しました。

公明党福岡県議団は、代表質問で都市部マンション被害への支援の充実、住宅再建共済制度の創設、ブロック塀の点検、公立学校の耐震化優先調査の実施、学校整備計画を改築から改修に見直すようたしました。

臓器移植の普及啓発を迫る

平成9年に各党が党議拘束をはずして可決した臓器移植法は、地方公共団体に移植医療について国民の理解を深める措置を講じなければならないと定めています。

私は、麻生知事と森山教育長に臓器提供が進まない理由、移植を待つ方々への配慮、高校教育現場に臓器提供意思表示カードの設置を求めました。

防災メールに警察情報を

私は、今回の地震で携帯のメールの効用を実感。

知事に6月1日から運用開始された「防災メールまもるくん」について自治体への指導助言、県民への啓発を質問。

吉田警察本部長には、事業参画し防犯対策のため不審者情報をはじめとした警察情報を提供しよう求めました。

議会報告

麻生知事は、ブロック塀の安全点検を進めるため「安全対策協議会」を設立すると明言。

森山教育長は、学校の耐震優先調査の実施、整備計画の見直しを検討すると答弁しました。

知事は、移植コーディネーターと関係機関の連携を密にして臓器移植が増えるよう努力していく。と答弁しました。

森山教育長は、高校教育現場にも臓器提供意思表示カードを備え付けると答弁しました。

知事は、団体、自治体、県民に広く普及啓発をしていくと答弁。

吉田警察本部長は、防犯対策のため事業参画を検討すると答弁しました。



「防災メール・まもるくん」へのアクセスにご利用ください。



メール登録無料



防災情報等メール配信システム
防災メール・まもるくん
災害時の情報等をメールでお知らせします。
登録はこちらから
<http://www.bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp/>

第 2 回県議会報告会開催

安心で安全な地域を目指して



6 月 11 日、西新公民館で、昨年に続いて第 2 回県政報告会を行いました。当日は、ご多忙のところ竹田西新校区自治協議会会長をはじめ地域役員の方々も多数お集まり頂き心から感謝致します。

私の実績報告として 今回の西方沖地震は、現場主義に徹し、国、県、市、町が連携し法改正も視野に入れ現場の復旧、復興に全力を挙げた。地域の安心・安全の観点から 9 月議会に引き続き警察からの不審者情報の提供を議会で質問する。移動知事室でお約束した商店街の祭り、安全対策は前向きに進んでいる。市町村が対策を採れば障害者一人でも特殊学級を設置できる。などを報告。

私は、この県政報告会を、皆様に感謝の思いと、議員として一年間何をしてきたのかを知っていただくためにも継続して参ります。

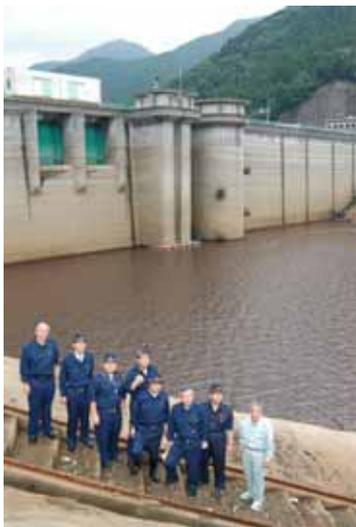


満席の西新公民館講堂



隅谷明依・結布姉妹の名演奏

水事情を緊急調査



油木ダムを調査する公明党県議団

6 月の記録的な少雨に続き、7 月に入って局地的な大雨が降るなど、異常な梅雨となった。私は、公明党県議団の一員として 7 月 4 日田川郡添田町の油木ダムや行橋市、築城町の水田、農業用井戸、貯水池などを視察しました。

油木ダムでは、所長以下今後の飲料水、農業用水の確保に安心はできないとして心配顔でした。また、行橋、豊前両市、新吉富村で 21ha にわたって田植えを断念するなど農家に被害が出ていました。



福岡市の海水淡水化施設も視察、日量 5 万 t の給水が始まることを確認しました。



まるで、工場のようなでした。

東京都議選 全員当選!! 今後も都政をリード



7 月 3 日投開票された東京都議選で、公明党は現職 14、新人 9 の 23 氏が全員当選。15 の選挙区でトップ当選、6 選挙区で過去最高票を獲得。

公明党は、「黨員、支持者の皆さまに心から感謝と御礼を申し上げます」「庶民のための都政実現に全力を挙げる」との党声明を発表しました。